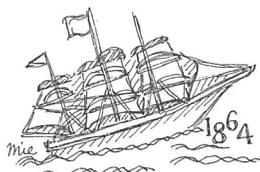


DOSHISHA REPORT



法人部

●2005年秋の叙勲・叙位

同志社大学名誉教授竹中正夫氏、同志社大学名誉教授田口芳弘氏がそれぞれ瑞宝中綬章を受章され、11月10日国立劇場大劇場で伝達式が行われた。

また、学校法人同志社監事野瀬夫氏が旭日小綬章を受章され、11月9日霞ヶ関会館で伝達式が行われた。

●創立記念行事

ユニオン 11月6日 10時
今出川キャンパス
創立記念礼拝 11月27日 10時

現代詩の代表的詩人、鄭芝洛の詩碑が今出川キャンパスに建立され、12月18日、除幕式が行われた。場所はハリス理化学館の西側広場で、95年に建てられた尹東柱の詩碑の南側に並んで設置された。

詩碑は昨年12月、沃川郡から「旺盛な創作活動を行い、縁のある同志社大学に詩碑を建立したい」との申し出があり、同郡から寄贈された。花こう岩製。川の流れと虹をイメージしたデザインに、代



除幕式での日韓関係者（左から3人目が八田英二学長）

大学

早天祈祷会 11月29日 7時
同志社礼拝堂
創立130周年記念式 若王子山頂
11月29日 9時
大学神学館礼拝堂

●創立130周年記念

「大学ホームカミングデー2005」開催

2005年11月6日、「ユニオン」と併せて「大学ホームカミングデー2005」が今出川キャンパスで開催された。雨天にも関わらず2000人の参加があり、終日賑わいを見せた。

同志社礼拝堂での厳かな開会式の後、明徳館で大谷實総長の創立130周年記念講演「同志社の過去・現在・未来」が行われた（12頁参照）。また、特別企画のクラーク記念館改修保存工事現場見学が人気を集めていた。その他、卒業生交流レセプション、野点、音楽の競演などの多彩なプログラムに歓声をあげ、恩師や旧友との再会など、卒業生は「精神に帰る一日」を堪能されていた。

表作「鴨川」の全文が日本語とハンゲルで刻まれている。

鄭氏は韓国中部の沃川郡の出身で、自然をテーマに多くの詩を発表している。「韓国現代詩の父」と評され、尹東柱にも影響を与えた。同志社礼拝堂で行われた除幕式には、大学や韓国の関係者約60人が参加。八田英二学長は、「韓国の文学界に大きな影響を与えた2人の詩人の碑が、心のふるさと同志社に建ったが、日韓の文化交流の発展に寄与することを願っている」と挨拶した。

●臨光館が竣工

2005年9月28日、新町キャンパスにおいて臨光館の竣工式が行われた。建物は鉄筋コンクリート造、建築面積2255・6㎡、延床面積8476・30㎡で、地上4階、地下1階建である。1階は社会学部・政策学部事務室および研究室事務室や食堂等があり、2・3階は大・中・小の会議室や研究室、現代アジア研究センターなどが配置されている。また、地下は書架スペースになっている。

臨光館は、政策学部と社会学部の個人研究室・共同研究室や教室の不足を解消する目的で、旧臨光館を改築した。旧臨光館は「日本電池発祥の地」の建物で、

(巻頭グラビア参照)

●同志社ブランド3大酒が誕生

2004年秋の同志社ワインのデビューから1年、ビールと日本酒も加わり同志社ブランド3大酒が勢揃いした。

ワインは、丹波ワイン株式会社の黒井衛社長（96年商学部卒業）の発案により実現、04年の大学ホームカミングデーの席で披露された。05年4月にはラベルデザインとネーミングを公募、6月に品質を高めた新ワイン「1875」（赤・白）が発売された。

ビールは05年秋、御所の南に長年店を構えるキンシン正宗（株）京都町家麦酒醸造所が製造し、「寒梅館」と命名された。同社の広告には「御所をはさんで北と南、京都が育んだ伝統・文化のコラボレーション」のキャッチフレーズ。

大吟醸酒「七五三太」は、社会学部社会学科で「社会調査実習」を学ぶ学生と「伏見日本酒クラスター研究会」（代表・社会学部藤本昌代助教授）が企画・考案した。製造・販売は株式会社北川本家。なお、売り上げの一部は、いずれも在学生の奨学金として大学に還元される。

●韓国詩人・鄭芝洛の碑を建立

大正5昭和初期に大学に在学した韓国

石碑と旧日本電池本社社屋のレプリカを南側外壁に組み込み、保存している。

女子大学

●同志社女子大学地区別懇談会

6月18日/岡山、7月2日/横浜、7月9日/熊本において、地区別懇談会を開催した。2002年度より全国各地で、卒業生および栄光会会員に、本学の教育方針や取り組みに対する理解を得るとともに自己啓発の機会を提供するため、女子大学主催、同志社女子大学栄光会・同志社女子大学同窓会《Mieの会》協賛で行われている。当日は各会場60〜90人が参加し、女子大学薬学部 森田邦彦教授による「クスリとリスクく有効・安全な薬物治療をめざして」と題した講演を行った後、懇親会において教職員、卒業生および栄光会会員などが交流を深め、盛況のうちに終了した。

●秋季リトリート

10月29日・30日
同志社びわこリトリートセンターで行われた。

細井順氏（財）近江兄弟社ヴォーリズ記念病院緩和ケア部長）を講師に迎え

「死と向き合う人からのメッセージ」をテーマに講演いただいた。「死」を体験するシュミレーションを通して、今生きている素晴らしさを実感し、「生」について考える貴重な機会となった。医療という枠を超えて、人生最後の一ヶ月を過ごす患者と家族を支えるホスピスの使命の重さを痛感した。学生・教職員の約80人が参加し、グループ・トークや全體會を通して交流を深め、1泊2日の充実した時間を過ごした。

◆シエイクスピア・プロダクション公演

Romeo and Juliet

学芸学部英語英文学科3、4年次の2年間をかけてシエイクスピアの作品を研究し、4年次の秋に授業の一環として英語による上演を行っており、キャストをはじめ、台本、字幕、衣装、大道具、照明、演出等すべて学生の手によって作られている。第55回目を迎える今年度は、11月11日 新島記念講堂、13日 寒梅館においてRomeo and Juliet を上演。学内外から2日間で1500人を超す観客が来場し、好評を博した。

◆女子大学ホームカミングデー2005

女子大学と同志社女子大学同窓会《Vineの会》共催、同志社同窓会、同



新島記念講堂でのホームカミングデー2005

志社女子大学栄光会、京田辺市、女子大学各学会協賛によるホームカミングデーを、11月13日、京田辺キャンパスで開催した。当日は新島記念講堂にて開会礼拝、開会式、女子大学同窓会《Vineの会》総会、女子大学松下悦子助教授によるソプラノ独唱、卒業生による弦楽四重奏、チアリーダー部公演の後、キャンパス内にて学部学科、学生クラブ、同志社同窓会による展示や講演、公演、体験、また京田辺市の地元農産物の販売などが行なわれ、1000人を超える出席者は、発展を続ける女子大学での充実したひと時

を過ごした。

◆薬学部医療薬学科

6年制課程へ全面移行

薬学部医療薬学科は、医療現場において医師、看護師、臨床検査技師、管理栄養士などのスタッフとともに、チーム医療の一翼を担い、質の高い有能な薬剤師を養成することを目的として、2005年4月から4年制課程で学生受け入れを開始し、入学定員120人に対し入学者150人でスタートした。

2006年4月からは、法律改正により薬剤師の国家試験の受験資格が4年制課程から6年制課程へとなったため、医療薬学科の入学定員120人を6年制課程へ全面移行する申請を文部科学省に行い、2005年12月5日付で認可された。

本学の6年制課程の医療薬学科は、医療現場におけるチーム医療に重要なメンバーとして参画できるように、幅広い教養と豊かな人間性を身につけ、医療現場で求められている問題解決能力を持った実力のある薬剤師を養成する観点から、4年制課程よりも、医療系・臨床系の新設科目の配置や薬学実務実習関係の充実を図るなど、6年間を通じて充実した薬学教育が受けられるカリキュラム内容と

している。また、初めて実施される共用試験や薬剤師国家試験に対応できる充実した教育研究を行うこととしている。

◆音楽学科定期演奏会

12月11日、京都コンサートホール大ホールで、第35回定期演奏会を開催。音楽学科合唱団によるJ・G・ロパルツ／ミサ・ブレヴィス、西村朗／炎の挽歌、音楽学科管弦楽団によるL・v・ベートーヴェン／「エグモント」序曲、交響曲第1番二長調「巨人」を演奏。1100人を超える来聴者を迎え、好評を得た。

高等学校

◆ウエスリーカレッジ交換留学(受入)

9月16日～10月1日

メルボルンの名門私学から男子4人、女子5人の生徒が来日。7月末に本校生徒がホームステイしたホストファミリーと1ヵ月ぶりの再会。まず同志社びわこリトリートセンターでの一泊ガイダンス合宿で一気18人の仲間が仲良しになり、みんなが力を合わせて授業や日本語教室、生花や料理教室などに参加し、毎日新しい友達のつながりができていっ

た。大谷総長を表敬訪問し、岩倉祭ではリレーに参加。ヨーガや、歌と踊りとパントマイムでオーストラリアの歴史を楽しく紹介。広島市の平和記念館見学研修では、あらかじめ学んできた被爆の現実を改めて目で確かめ、貞子像の前で平和の折鶴を折り、非戦の詩を朗読した。多くの教職員の協力があり、文化交流行事として本日に定着したものとなっている。

◆岩倉祭

9月29日～10月3日

地下鉄を利用する市民の目に全てが見えてしまう、遮るものが何一つない南グラウンドでの初の体育祭。きちんと集合し、住民に不快感を与えないようスピーカーの音量に気をつけながら、例年の体育祭とは違った緊張感を持ちつつ秋晴れの1日、リレーや玉入れ、棒倒し、騎馬戦等々の競技にしなやかな体が躍動した。分団対抗応援合戦は、選曲と振り付け、手作り衣装の見事に観客は惜しみなく拍手。この時のために何十時間も練習してきた10分間が夢のように流れ、3年生の顔も身体もまぶしく輝いていた。

体育祭をオーピングに、クラス・クラブの演劇やパフォーミングス、展示や模擬店と続き、写真を取り合うなど岩倉祭を思う存分楽しんでた。模擬店の純益

が1万円を超え、教員もカンパしてクラブパートが2万円ほどをクリスマスマスを献金に捧げた。

◆人権学習会

10月26日

5、6時間を利用し、1年生は「アジアからの留学生10人の話」2年生は映画『チルソクの夏』3年生は「ハンセン病問題」「ヒロシマの心」働くこと・生きること」の講演を聞き、HRでその感想を書く。ともすると日常の生活のなかに流されて、基本的な人権を大切にする姿勢を忘れがちな自分たちを立ち止まらせて考える機会となった。

◆秋のリトリート

11月12・13日

「自分たちは何ができるか」をテーマに花背「山の家」で実施。参加13人。講師には板垣容子氏をお招きし、タイの少数民族、カレン族の村の子供らと5年間暮らしてきた経験から日本と現地の違いを話され、少数民族の人たちが伝統を守り、自立と平和の道を歩めるために、私たちは何ができるか生徒に問いかけた。夕食は板垣さんの指導でグリーンカレーやココナッツミルクスープを作り、満天の星の下でタイの地に近い食事を分け合った。翌日は「岩倉キャンパスクリスマス」の計画を熱心に話し合い、

ホザナコーラス部や管弦楽部、宗教部、それに音楽受講生が実行委員会を立ち上げて、生徒中心に進めて行きたいという基本線が確認された。

●クリスマス礼拝

12月10日
美術部の有志と礼拝委員が協力して、直径1・5mもある美しいリースを作り、チャペルホール入り口に飾る。平安教会牧師後藤正敏氏の奨励を聞き、世の暗闇がいつそう際立つこの社会で、キリストの光を見失うことがないように祈りを



止揚学園訪問交流の一場面

捧げた。

●岩倉キャンパスクリスマス 12月10日
5時半開始。1時間半チャペルに若人の聖歌やキャロルが響き渡る。地域の人や卒業生も含め200人ほどで音楽礼拝を捧げた。

●止揚学園訪問交流

12月14日
恒例の訪問交流だが、生徒にとってはいつも初体験。お話を聞き、お手伝いをし、食事を共にし、歌い踊り、生きていることの素晴らしさを体中に感じて、人の行き交う京都へ帰ってきた。

香里中高

●運動部救急講習会

9月1日
例年、夏休みに実施していたが、今回は講師の都合で始業式の日になった。参加者は、運動部のキャプテンや副キャプテンを務める約70人。講師の熱心な指導のもと、救急実習に汗を流していた。

●人工芝の第1グラウンド完成

9月10日
1周400mのアンツーカー色のトラックと中央部のグリーンのフィールドが色鮮やかである。通学路側のラグビーのボールの後に、白で「DOSHISHA



竣工した第1グラウンドと記念のラグビー対抗試合（対淀川工業高校）

●中2修学旅行(函館)

10月22〜25日
例年より出発が早くなり、教員も生徒も準備が忙しかったようだが、全行程を元気に行動した。名所旧跡に感動した以上に、牧場でのバター作り、朝市での売り子体験などの実習で人々とふれあったことの影響が深かったようである。

●スポーツ大会

12月12日 高校
12月13日 中学
午前中だけのスケジュールであったので、運営はいろいろ工夫があったが、生徒は寒さにも関わらず活発であった。人工芝のグラウンドに座つての閉会式も和やかであった。

●高2情報見学会(班別行動)

9月30日
修学旅行の班単位で、事前にスケジュール表を提出させ、京橋のツインビルにある「ナショナル展示館」と、中の島の「大阪市立科学館」の両方を見学した。

●高1学力テスト(外部模試)

10月8日
進路委員会から「生徒のモチベーションを高め、全国における位置を認識させる」という目的で外部の模擬試験の導入が提案され、教員会議で何度も議論した結果、今年度、英語、数学、国語の3科目で高1より実施することになった。先

日その結果が出たが、学年としての偏差値は全国平均より上であった。

女子中高

●修養会

9月10・11日
同志社びわこリトリートセンターで中学2年生から高校3年生の修養会が行われた。中学生は「I love you」(愛♡友)をテーマに鈴木祈先生を講師に迎え、高



びわこリトリートセンターでの修養会

KOR1」と入っている。(これはOB会からの寄付である。)

10日の竣工式では、陸上部員の走り初めと、ラグビー部が改修工事中練習でお世話になった淀川工業高校を迎えて、練習試合を行い新グラウンドでの初戦をものにした(詳細はPTA新聞146号を参照)。

校生は「Zeals」一粒の愛」をテーマに青木恵美子先生を講師に迎え、愛、友情について語り合った。

●体育祭

9月27日
幸い好天に恵まれ、徒競走、綱引き、仮装競演、応援合戦、プログラム最後のクラス対抗リレーに至るまで、活力ある展開がなされた。

●文化祭

9月29日〜10月1日
3日間の日程で、「Viva la Vida」をテーマとして開催された。栄光館のアスベスト除去工事のため栄光館は使えず大学の好意により寒梅館のハーディーホールを借りて合唱コンクールを行い、熱唱した。また、催し物やオーブニングやメインフェスティバルは体育館2階で行なった。中学1年生は通路にスタンド・グラスを飾り、中学2・3年生はクラスごとの展示、高校生は文化系クラブの発表、有志による展示、演奏等様々な分野で活発な活動が行われた。また1日には並行して、女子部のバザーが開催された。

●収穫感謝礼拝

11月17・18日
9月からのアスベスト工事も終わり、11月17日には栄光館でハンドベルの演奏、聖歌隊の合唱による賛美礼拝を持ち、18日には、収穫物を持ち寄り、感謝の礼

拜、午後、寄せられた収獲物と献金を持って養護施設・老人ホームなどを訪問し、それぞれの場所で交流の時を持った。

●クリスマスベージュメント 12月16日
午前の部は生徒・教職員とで、午後の部は和敬学園の方々を招き、一般の方々と共にクリスマス礼拝をまとめた。生徒、教職員、礼拝に参加した一般の方々から寄せられた献金は、全国の福祉関係の施設、事業所に送られた。

国際中高

●文化祭 9月19日～24日
本校の最大行事である、中学体育祭・高校体育祭・中高文化祭が盛大に行なわれた。好天に恵まれ、応援合戦・マスゲーム・中3・高3の演劇発表等さまざまな企画に、生徒たちが積極的に参加し、楽しい期間を過ごした。

自分たちで企画し、2～3の役職を兼務し、全体の力にしていく生徒たちの力強さに感動した1週間であった。

●中3体験学習 9月7・8日
知多半島、南知多温泉郷で実施された。日常生活を離れ、地引き網漁、キャンプ

た。今回の催しが出発であり、これからもこのような催しを続けていくことを皆で誓い合った。

●人権強調週間

10月24日～28日
人権委員を中心に、人間の尊厳と基本的人権を守ることの大切さについて深く考える週間となった。外来講師の講演、ワークシヨップ等、それぞれの企画に真剣に取り組んだ。

●高校アドベント礼拝

11月16日
吹奏楽部・聖歌隊・高等学校3年生 Songs in English受講生、保護者のコーラスグループの協力のもと、厳粛に執り行われた。

●国際交流

今年度も世界各国から多くの友人たちが本校を訪れ、有意義な交流が行われた。また、本校生徒たちも海外研修にチャレンジした。主な交流プログラムは、

- ・ Ecole Active Bilingue Jeannine Manuel (フランス)との交換プログラム
- ・ フィリップスアカデミー・サマーセシヨンへの参加
- ・ サマープログラム・in Amherst

ファイアーなど楽しい企画が行われた。昨年は台風のため短縮プログラムであったが、今年度は好天に恵まれ生徒たちは2日間を満喫したようであった。

●フォロー博士来日

11月22日
高校3年の選択科目「Studies on Famous Speeches and Speakers」の一環として、ノーベル平和賞受賞者で、ハーバード大学医学部助教授のラックラン・フォロー博士が来校された。生徒たちのレポートをもとに、戦争と平和に関する意見交換を行った。全て英語での周



ノーベル平和賞受賞者フォロー博士の授業の一コマ

中学校

●夏のキャン

1年生は7月22日～30日にかけて4期、各期2泊3日で宮津市にある本校由良キャンプサイトで海のキャンプを、また2年生(希望参加)は7月22日～8月2日にかけて4期、3泊4日の信州の唐松岳登山と梅池自然園を訪ねる山のキャンプを行った。参加した生徒たちは、海や山の自然を満喫していた。

●体育祭

9月22日
八分団がトラック種目や綱引き、棒倒し、騎馬戦、ムカデリレーで白熱したレースを繰り広げた。

●学園祭

10月5日～7日
京都会馆で舞台発表である2年生行事、演劇フェスティバルを2日間にわたり開催した。どのクラス、クラブの発表も魅力ある舞台であった。また、最終日には学校で1年生舞台発表や展示発表、生徒会行事が催された。フィナーレには各分団が踊りのパフォーマンスを競う「輝舞祭」が行われ、生徒たちの若いエネルギーが燃えた3日間の幕を閉じた。

●秋の宗教人権週間・人権行事

到な準備とプレゼンテーションに博士も真摯に応えてくださり、非常に充実した時間となった。

●創立25周年記念行事

11月4日～6日
創立から4半世紀を経た国際中高の誕生日を祝う催しが3日間に渡って行なわれた。15周年記念の際は、テーマに「帰国生徒教育の到達点と展望」を掲げ、全国規模の教育研究大会を行ったが、今回は、卒業生とともに祝う学校の誕生日をテーマに掲げた。

行われた行事は、4日は、卒業後さまざまな分野で活躍する卒業生が在校生にメッセージを送るパネルディスカッション。何もない創立当初の学校環境から一つひとつ作り出してきた卒業生たちのバイタリティに在校生たちも感じるものがあつたようである。5日は、ホームカミングデー。既に退職された小池先生の礼拝から、多くの卒業生が集い、楽しいひとときを過ごした。それぞれ雰囲気は変わったけれど、顔を見たとたん学生時代に立ち戻って本当に楽しい歓談の一時となり、再会を約束して散会した。6日は、京都ホテルオークラで記念パーティ。総長・理事長先生にも臨席いただき、300人以上が集まり楽しい一時を過ごし

11月7日～11日

秋の宗教人権週間では、本田栄一先生(桜美林中学校校長)、三谷高康先生(日本キリスト教団豊中教会牧師)、鈴木祈先生(日本キリスト教団大阪教区教務牧師)をお招きし、礼拝奨励をいただいた。また宗教人権週間の最終日には人権行事を行い、映画鑑賞「マラソン」の他、1年生ではブライズンドリーディング体験、点字・生活グッズ体験、2年生



体育祭の棒倒しの一コマ

では点字作業や、介助犬、車椅子体験、手話、ハングル講座、3年生では人権ゆかりの地を訪ねるツアー（耳塚・八坂の塔・伏見の戦跡他）、立命館平和ミュージアムと陪審法廷見学、衣笠共同作業所の訪問、丹波マンガン記念館を訪問するなどして人権についての見識を深めた。

●クリスマス礼拝・クリスマス燭火礼拝
2学期終業式にクリスマス礼拝を全校生徒が参加して行った。また夕刻にはチャペルでクリスマス燭火礼拝を行い、多くの参加者で賑わった。

●スキーキャンプ
12月23日、27日
12月23日、26日
3年生は4泊5日で長野県志賀高原一の瀬スキー場でのスキーキャンプ（参加者258人）と、3泊4日で沖繩の平和学習を中心とした研修旅行（50人）を行った。今年はスキーキャンプの出発が大雪のため1日遅れ、3泊のキャンプとなったが、無事日程を終了し、生徒たちはそれぞれに中学校生活最後の思い出に残る楽しい日々を過ごした。

中学校	国際中高		香里中高		女子中高	
	高校	中学	高校	中学	高校	中学
		葉 以潔 「いつまでも残るもの」		(シヨート礼拝)	三谷高康 「昨日今日明日」	11月7日(月)
	本田栄一 「知る力」 「見抜く力」	辻村佳子 「Dearst you!!」	本田栄一 「何のために学ぶのか」	辻村佳子 「新しいもの」	葉 以潔 「わたしが好き」	11月8日(火)
	本田栄一 「何のために学ぶのか」	辻村佳子 「共感する世界へ」	本田栄一 「知る力」 「見抜く力」	本田栄一 「何のために学ぶのか」	辻村佳子 「わたしにほいもの」 「不当にほいもの」	11月9日(水)
	三谷高康 「桃栗3年、柿8年 人間1生」	横野朝彦 「最も大切なこと」 「向こう岸へ」	山田真理 「傷との出会い」	山田真理 「わたしが好き」	本田栄一 「何のために学ぶのか」	11月10日(木)
	鈴木 祈 「眼力(めじから)」	中村幸久 「最も大切なこと」	山田真理 「傍らに立つ者」	横野朝彦 「わたしが好き」	本田栄一 「知る力」 「見抜く力」	11月11日(金)
		鈴木 祈 「傍らに立つ者」	山田真理 「いのちの重さ」	中村幸久 「最も大切なこと」	平田 義 「いのちの重さ」	

講師紹介(敬称略)
 本田 栄一(桜美林学園中・高校長)、辻村 佳子(松山東雲学園高校聖書科教諭)、
 鄭 富京(日本キリスト教団上賀茂伝道所牧師、平田 義(向島伝道所牧師、愛隣館所長)、
 三谷 高康(日本キリスト教団豊中教会牧師、中村 幸久(室町教会牧師、元同志社中学校長)、
 鈴木 祈(日本キリスト教団大阪教区事務局、山田 真理(日本キリスト教団鳥羽教会牧師)、
 横野 朝彦(東京番町教会牧師、葉 以潔(日本キリスト教団松江古志原教会牧師)

幼稚園

- 七夕発表会 7月6日
寒梅館ハーディーホールで、全園児が家族を迎え、クラス毎に歌やダンス、オペレッタなどを披露した。
- お泊り保育 7月8・9日
年長組が園に泊まり、キャンプファイヤーや花火をして楽しく過ごした。
- 7月お誕生会 7月12日
午前中は全園児がホールに集まり、ダンスや歌の発表をしたり、教員たちの出し物を観て、午後からは誕生日を迎えた園児とその保護者が園に集まり、教員もともに昼食をいただき、ケーキをろうそくを灯してお祝いをした(毎月一回行われる)。
- 琵琶湖キャンプ 8月2日
年長組が比良キャンプ場へ電車でお出かけ、水遊び、バーベキュー、スイカ割りなどを楽しんだ。
- 夏期保育 8月3・5日
水遊び、色水遊びやフィンガーペインティングなどをして過ごした。
- 同窓会 8月4日
卒園生が集まり、ゲームをしたりおや



英国エーコン幼児学校との交流協定のときのお茶会(同志社チャペル前)

- つを食べたりして楽しく過ごした。
- 入園説明会 9月3日
2006年度の入園説明を行った。
- 運動会 9月23日
女子大学テニスコートで、保護者も参加し、共に競技やダンスを行った。
- バザー 10月1日
女子中高校内で、同窓会、女子中高と共に園児制作のキーホルダーやグッズを販売した。
- 秋の遠足 10月17日
全園児でバスに乗り、観修農園いもほりに出かけた。
- お茶会 10月28日
年長児がチャペル前で総長先生・理事長先生や教職員の方などにお茶やお菓子を運び、日頃のお稽古のお点前をした。
- チャペルアワー 11月2日
年長組園児が神学部礼拝堂で、堂腰園長の話を聞いて、讃美歌を歌い、共に礼拝をした。
- 『能と聖書の対話』礼拝 11月5日
園児が各家庭から野菜や果物を持ち寄り、共に収穫を感謝して礼拝をした。
- 校相墓参 11月28日
全園児で新島襄先生の墓前に集まり、園長先生による礼拝をもった。
- チャリティーコンサート 12月4日
京都いのちの電話主催のチャリティーコンサートに年長組の希望園児が聖歌隊として参加した。
- クリスマス礼拝 12月16日
新島会館で全園児が揃って、礼拝・ページェントをし、サンタクロースが来て保護者と共にお祝いをした。